

令和 6 年度針尾保育園事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 70 名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	5	6	6	7	7	7	8	8	9	9	9	9	90
1～2歳児	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	262
3歳児	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	95
4歳児以上	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
計	54	56	57	58	58	58	59	59	60	60	60	60	699

(3) 職員数 令和 5 年度初 22 名 令和 5 年度末 22 名

(4) 職員の異動

① 採用 無し

②退職

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R6.12.31	用務員				

③異動

年月日	職名	氏名	年齢	資格	備考
R6.4.1	保育士				

(5) 職員会議の開催状況

月 2 回以上、必要に応じて実施し、その都度必要に応じて開催した。全ての会議の内容は記録にとり、全職員へ周知した。会議では出席者全員が発言するよう心がけて進め、一人ひとりが自覚を持ち日々の保育に携わるようにした。また、内容は子どものみならず、保護者も含めた様々な立場や育ちなど全てを俯瞰的に捉えて話し合うことで新たな気づきや改善点を見つかりと共に自分自身の保育の見直しにつながった。

2 保育の実施状況

地域の特色や園の置かれた環境を十分に生かした保育を実施出来た。また園児がより自主的・実践的な活動が行なえ、その延長線上に行事などがあるとの考えに基づき、日頃から“何をしたいか”“何をやりたいのか”等園児の姿を良く見ることに努めた。

保護者や地域等へはホームページを活用しつつお便りや地域行事に参加する事で保育園の情報を伝えた。一日保育参観も引き続き実施。全ての保護者が参加し、園との絆がより深まった。また、アンケートも実施し保護者の考えやお気持ちに触れることが出来た。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週指導回数）	委託先名
幼児体育指導		毎月 2 回 午前 10 時より 年間 19 回	いむら体育教室
漢字保育指導		年 6 回（5 月・6 月・7 月・9 月・10 月・1 月）	登龍館
英語遊び		毎週月曜日午前 9 時 30 分より 年間 35 回	E C C

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行事	実施年月日	行事
4月1日	始まりの会	8月1日	サンホーム江上訪問(桜)
8日	花まつり参加(島瀬公園・桜)	8月9日	漢字研修
17日	バスハイク(桜・菊)	8月20日	誕生会・心の保育
19日	バスハイク(百合)	8月26日	避難訓練
20日	歓迎親子遠足(雨天、園内開催)	9/2～9/7	一日保育参観
23日	誕生会・園内花まつり	9月8日	針尾地区運動会参加(桜・菊)
25日	火災避難訓練	9/11～9/13	東明中学校職場体験
26日	漢字研修	9月18日	誕生会・心の保育
5月14日	バスハイク(桜・菊・百合)	9月20日	サンホーム江上訪問
15日	尿検査(3歳児以上)	9月21日	台風時避難訓練
20日	誕生会・心の保育	25日	火災避難訓練
22日	バスハイク(百合・菊)	10月9日	運動会総練習
24日	バスハイク・茶市(桜)	12日	運動会
27日	火災避難訓練	16日	尿検査(3歳児以上)
30日	漢字研修	10/21～26	一日保育参観
6月1日	浦頭埠頭セレモニー(桜・菊)	28日	不審者侵入時避難訓練
4日	バスハイク(百合・菊)	29日	バスハイク(百合・菊・桜)
6日	バスハイク(桜)図書館	11月1日	鍛錬遠足(雨天、園内開催)
6日	歯科検診	8日	バスハイク(百合・菊・桜)無線塔
6/10～6/15	一日保育参観	19日	火災避難訓練(消防署立ち合い)
18日	誕生会・心の保育	20日	誕生会・心の保育
19日	大島造船所命名式	22日	バスハイク(桜)パールシー
22日	内科健診・不審者侵入時避難訓練	30日	内科健診
26日	バスハイク(百合)	12/11～14	作品展
27日	野歩さんコンサート(日宇保育園)	11日	バスハイク(桜・菊)虚空蔵山
28日	火災避難訓練	14日	餅つき
30日	福祉会研修	18日	誕生会・心の保育
7月4日	相浦プール(桜・菊)	20日	バスハイク(桜・菊)消防署見学
5日	七夕集会	23日	交通安全教室
7/8～7/13	一日保育参観	24日	プラネタリウムごっこ(桜)
11日	110番通報点検	25日	火災避難訓練
12日	バスハイク(桜)プラネタリウム	27日	バスハイク(桜・菊・百合)
19日	漢字研修	28日	保育納め
25日	地震避難訓練・交通安全教室	R7/1/4	保育始め
26日	夏祭りごっこ	10日	110番の日・防犯訓練
30日	大島造船所命名式	17日	漢字研修
1月23日	園内かるた大会	3月3日	ひな祭り集会・誕生会
29日	針尾小学校訪問	5日	カレー作り(桜)
29日	110番通報点検	9日	うずしお祭り
31日	火災避難訓練	11日	卒園式総練習
2月3日	節分集会・誕生会	15日	第47回卒園式
7日	発表会総練習	22日	重要事項説明会
15日	発表会	31日	終わりの会
21日	バスハイク(桜)電車体験		

5 職務分担表（令和6年度）最終版）

職名及び氏名	職 務 内 容	
園長 古峨 知都子 (苦情解決責任者)	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成)	4 財務管理 5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者
主任保育士 (苦情受付担当者) 安全運転管理責任者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施苦情解決責任者 9 苦情受付担当者 10 小学校との連携 11 バスの運行と安全管理
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録園児の健康と安全管理	4 調理員との連携 5 保護者との連絡及び指導 6 園だよりの作成
保育士	*桜組の担任	
保育士	*菊組の担任	
保育士	*百合組の担任	
保育士	*薔薇組の担任	
保育士	*堇組の担任	
保育士 看護師	*蒲公英組の担任	
保育士	1 園舎内外の掃除点検・消毒	2 共通遊具の整理、保存
保育士	1 保育材料に関すること 2 備品物品に関すること	3 掲示板
保育士	1 交通安全に関すること	
保育士	1 避難訓練に関すること	
保育士	1 保健衛生に関すること	
看護師（衛生推進者）	1 医薬品の整備・保管 2 衛生推進に関すること	3 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること 4 検便に関すること
保育士	1 延長保育促進事業に関すること	
保育士	1 心の保育に関すること	
保育士（食育担当）	1 食育に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収 2 給食人員の把握 5 調理・配膳	3 炊具、食器の保管 4 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
用務員	1 園児バス運転に関すること	2 園の用務に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備状況

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

無し

(2) 固定資産物品（10万以上）

年月日	物品名	金額（円）
R 6.9.2	土地	4,000,000
R 6.9.12	110 番通報装置一式	330,000
R 7.3.31	A E D一式	209,000

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

一年を「目標」「希望研修等」「前半評価」「後半目標」「年間評価」「来年度目標」と細かく分け、具体的な自己評価が出来るようにした。職員一人ひとりの評価を全体で共有し、保育の質の向上につなげていきたい。

(2) 保育園おける自己点検・自己評価

全職員を三つのグループに分け作成、その後園長の責務のもと、園全体の点検評価を作成した。改善点はあるもののなかなか実行出来ていない。全職員で少しずつでも有意義なものとなるよう改善につなげていきたい。

8 職員の研修参加状況

年月日	研修会名	参加者
R 6.5.23	食育部会	
6.10	給食部会	
6.24	施設長会	
7.10	保育士部会研修会	
7.29	調理従事者等研修会	
8月8～9日	石井式夏期指導者研修会	
8.26	調理担当者実技研修会	
8.27	保育研修会	
9.18	主任主幹研修会	
11.15	要録に関する研修会	
12.6	食育研修会	
12月9、10、13	キャリアアップ研修（乳児保育）	
1月4、6、7	キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応）	
2月4、5、6	キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	
1.20	研修部会企画研修	

9 苦情処理受付状況 1 件

連絡帳や手拭きタオルなど入れ間違いが複数回あった。連絡帳は特に個人情報なので注意して欲しい

→職員2人でダブルチェックするようにし、それも間違いがあったときは、帰りの際、保護者に確認をしてもらうようにする（かばんの中に入れておく）その後は入れ間違いはない。

R6年度

保育園(所)における自己点検・自己評価

(園名 針尾保育園)

・ A、B、C、Dの4段階評価

A：大変良い

B：良い

C：一部改善を要する

D：改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた保育課程を設定しているか。		○			園児の発達段階を見極め、地域の特色に配慮した保育目標を設定しており、子ども一人ひとりの特性をふまえた保育を実施した。反省や検討も行ったが、もう一步踏み込んで保育の質の向上につながるようにしたい。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子ども一人ひとりに応じた援助を行い、全職員にも周知出来ている。自然豊かな環境を生かした保育も様々な工夫で実施出来た。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			良いです。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			乳幼児がより自主的・実践的な活動が行事とつながるように、日常的に“何をしたいのか”“何をやりたいのか”等園児の姿をみつめ、行事につなげた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に充分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			職務内容・配置・分担・割り当てなど明確に出来ており、協働出来る体制である。
		(2) 職務内容が明確で、協働出来る体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			必要に応じて各種会議を開き職員相互の意見を出し合える。ややすると全体的な理解に欠けている場合には、適切に修正している。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	○			
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○			園児の年齢別実態に即した保育目標を設定していた。少人数保育の特性を生かした異年齢交流も活発に行なえた。職員全員が全園児の状況を把握しており、チーム保育もスムーズに実施出来た。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			各種訓練は必要に応じて関係機関と連携を計りつつ計画通りに行えた。保健便りなどを発行し、家庭と園とで共に健康・安全な生活となるようにした。
		(2) 避難訓練・交通安全を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等との連携を図っているか。	○			
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			園内研修や福祉会での研修に参加し、幅広い視野を養った。保育に反映させるためにも、その後の振り返りをしっかりと行いたい。
		(2) 所内研修の計画は・運営は適切か。	○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○			
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○			研修後は報告を会議で行い、資料等も含め、全職員に周知した。
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り合っているか。			○		年度当初、未満児クラスでのノートの入れ間違いが何度かあった。返却のやり方を工夫し、その後は良くなった。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			内外の老朽化が進んでいる為安全点検は細かい所まで行った。 保護者に確実に伝わるよう、掲示のやり方を工夫した。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適正かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか		○			処理できている。
開かれた保育所づくり 施設間交流・連携 家庭・地域社会との連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○			他園との交流はコロナ感染症の流行以降出来ていない。今後は状況を見極めつつ再開したい。 佐世保市が行っている保幼小連携で小学校との交流は行った。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感が味わうことができるような配慮や・支援を行っているか。			○		
	(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助についての共通理解を図っているか			○		
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園、小学校の教育を理解しているか。		○			
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。	○				「一日保育参観」には全ての保護者が参加され、アンケートの提出や懇談や給食試食等で、園との相互理解が深まっている。 コロナ禍後、徐々に地域行事や交流が増えている。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域会その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り 評 価	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行って			○		連絡帳や電話、口頭での相談を受けている。一人での対応でなく、内容を共有し、専門機関等へとつなげる場合もある。
		(2) 職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			より魅力ある保育園としての発信を工夫したい。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			頂くご意見は精査して運営や保育に反映している。
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			